

2019年度 物質・デバイス領域共同研究拠点
 “人・環境と物質をつなぐイノベーション創出ダイナミック・アライアンス”
 共同研究課題「化生研COREラボ」 募集要項

この度、物質・デバイス領域共同研究拠点物質組織化学研究領域（東京工業大学化学生命科学研究所）にて下記のとおり2019年度共同研究課題「COREラボ」の募集を行います。

受入領域	物質組織化学研究領域（東京工業大学化学生命科学研究所）
募集タイプ	拠点型
募集件数	1件
研究代表者要件 (PI)	5研究所（電子研、多元研、化生研、産研、先導研）に所属する若手教員 （准教授・助教、特任も含む） または 拠点活動を実施している外部機関に所属する若手教員（同上）
参加者要件 (共同研究員・ 支援員)	1. アライアンスまたは拠点共同研究を遂行している化生研の教員（受入教員）。 2. 拠点共同研究参加者 3. 技術支援員（CORE ラボ経費での雇用を可とする） 4. その他必要と認められる研究者 院生も可。
研究内容	物質・デバイス領域共同研究拠点を構成する5研究所におけるネットワークの特性を活かし、先端的・学際的・分野横断的で組織的な共同研究を濃密にかつ動的に実施することで、顕著な成果や飛躍的な研究発展を実現し、イノベーションの創出へと展開できる研究テーマであって、「物質・デバイス領域共同研究拠点」事業、もしくは「人・環境と物質をつなぐイノベーション創出ダイナミック・アライアンス」プロジェクトの趣意に合致した実践的共同研究内容であること。 上記の実践を持って事業および化生研の発展に寄与できる研究であること。
研究期間	2年間（2021年3月末迄。但し2年度目には継続申請書類の提出）。 但し研究成果によっては1年度または2年度の延長を認める（委員会で審査）。
応募方法	東京工業大学化学生命科学研究所所属の受入教員による推薦制と致します。 ・申請者は申請書に必要事項を記載の上、化生研受入教員へ送付してください。 (メール送信で結構です)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受入教員は申請内容を確認後、東京工業大学化学生命科学研究所事務室東工大 拠点事務 : kasei.kyoten@jim.titech.ac.jp 宛に申請書をメールにて送付し応募してください。
募集期間	2019年2月22日（金曜日）17時必着
選考方法	化生研アライアンス委員会委員（必要に応じて所内よりオブザーバーを追加）による書類審査。必要に応じてヒアリングを実施。
選考の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ アライアンス共同研究、拠点共同研究参加実績（年度、概要、成果） ・ 研究業績（原著論文、総説・解説、国際会議発表、ポスター、特許） ・ 研究目的および計画（準備状況、新規性、革新性、必要性、計画の妥当性、所外メンバーの来所計画*） ・ 研究チーム（構成、役割分担）の妥当性 ・ 期待される成果（学術的、アライアンス/拠点活動上） <p>選考は上記項目毎に採点の上、総合的に判断する。</p> <p>*PI（所外）は2019年度ならびに2020年度内に各々延べ60日以上のCOREラボ滞在が望まれる。但しPIが所内の場合は年度内に参加メンバーの延べ60人日以上のラボ滞在が望まれる。（60日以上の滞在について、共同研究メンバーの滞在日数を含めることができる。）</p>

実施中および実施後に求められる事項

成果の公表等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共著による成果公表（論文、学会、ホームページ等（所属機関HP、COREラボHP、拠点・アライアンスHPを含む）、特に共著論文発表、を行うこと。 （論文等への謝辞記載を必須とする） ・ アライアンスの各種行事（成果報告会、グループ分科会、若手研究会など）や拠点共同研究行事（成果報告会など）への積極的な参加・成果発表。 ・ 化生研にて実施しているプレスリリース。 ・ 年度毎の成果報告書の提出。 ・ 活動内容/成果の積極的な公知 （HPの準備、拠点アライアンスHPへの成果公表等）
--------	---

評価（継続審査）の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究成果（新規性、革新性、顕著性） ・ 研究業績（原著論文、国際会議発表、プロシーディングス、特許等） ・ 活動実績（ラボ滞在日数、分科会等への参加、プレスリリース等） ・ その他（受賞、昇任等）
-------------	---

実施後の待遇処置など

貸与研究室	最大1室（1スパン。50㎡以上）を措置する。
研究費	130万円以上（2019年度予定。但し状況に応じて変更の場合もあり）
その他	PI（所外）および参加メンバーには称号付与も可。 外部資金獲得はこれを積極的に推奨する。

問い合わせ先：

東京工業大学化学生命科学研究所

物質組織化学研究領域

TEL：045-924-5961 / E-mail：kasei.kyoten@jim.titech.ac.jp

産研アライアンス委員長 関野 徹

産業科学研究所 先端ハード材料研究分野

TEL：06-6879-8435 / E-mail：sekino@sanken.osaka-u.ac.jp

2019年度 物質・デバイス領域共同研究拠点
人・環境と物質をつなぐイノベーション創出ダイナミック・アライアンス
共同研究課題(CORE ラボ・〇〇研新規設置分)
課題申込書

年 月 日

アライアンス運営委員長 殿

所属機関: (フリガナ) 所属部署:
氏名: 職名: 年齢 歳(2019年4月1日現在)
勤務先住所: 〒
勤務先 TEL: E-mail アドレス:

物質・デバイス領域共同研究拠点 人・環境と物質をつなぐイノベーション創出ダイナミック・アライアンス
共同研究課題(CORE ラボ・〇〇研究所新規設置分)として、下記のとおり申し込みます。

記

<p>※該当する研究領域をチェックしてください。</p> <p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/>ナノシステム科学研究領域(北大) <input type="checkbox"/>物質創製開発研究領域(東北大) <input type="checkbox"/>物質組織化学研究領域(東工大) <input type="checkbox"/>ナノサイエンス・デバイス研究領域(阪大) <input type="checkbox"/>物質機能化学研究領域(九大) </p>				
研究課題				
研究期間	〇〇年〇〇月〇〇日～〇〇年〇〇月〇〇日			
研究チーム		氏名	所属・職名	備考
<small>注1:PIは4研に所属する、または拠点活動を実施している外部機関に所属する若手教員(准教授・助教。特任も含む)とし、共同研究員には、産研の教員(受入教員)を含むこと。 注 2:「共同研究員」は拠点/アライアンス研究者、「スタッフ」はPIが招聘・雇用する技術支援員等を想定。</small>	研究代表者(PI)		.	
	共同研究員(受入教員)			
	共同研究員			
	スタッフ			
	スタッフ			
	スタッフ			
拠点共同研究 もしくはアライアンス共同研究の活動実績	有 ・ 無	<small>※有りの場合に記載(*番号は拠点共同研究の場合) 受入(共同)研究員氏名: 課題番号*: 課題名: 実施期間(年度):</small>		

研究概要	これまでの実績	これまでの本拠点利用の共同研究、もしくはアライアンス共同研究実施の状況・実績を中心に記載
	研究目的	新規性、革新性、必要性などを含む研究の目的
	研究計画	年間実施計画(研究チームの役割分担についても記載) 来所・招聘計画
	期待される成果	学術上および拠点・アライアンス活動への貢献の観点から期待される成果。
	予算計画	設備備品 旅費 人件費

		謝金
	研究業績 (PIのみ)	代表的な原著論文、総説・解説、プロシーディングス、国際会議発表、特許等など、合計10件以内。 PIは氏名下に <u>二重下線</u> 、アライアンス研究者には <u>一重下線</u> 、拠点研究者には <u>波線</u> を入れること。